

行政経営会議 事案書

開催日：令和6年11月25日（月）

担当課：市民経済部 産業活性課

件名：大和市商業戦略計画の策定について

提出理由：大和市商業戦略計画を策定するにあたり、素案の内容について了承を得るため

内容：

1. 大和市商業戦略計画とは

- 本市は、平成24年12月に、商業基盤の強化と地域社会の活性化促進を目的に、大和市商業振興条例を制定し、翌年4月に施行した。
- 商業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画として、同条例第4条に基づき、策定するもの。

2. 計画策定の背景等

- 本市では、平成31（令和元）年度に現行の計画を策定し、商業の振興に関する様々な施策に取り組んできた。
- 現行計画の期間中には、新型コロナウイルス感染拡大の影響で見られた消費者の行動変容や、DXの進展による購買手法の変化など、本市の商業を取り巻く環境は大きく変わってきた。
- 令和6年度をもって現計画の期間が終了を迎えることから、これらの変化を踏まえ、新たな計画の策定が必要となる。

3. 計画策定の基本的な考え方

- 第10次大和市総合計画の将来都市像である「みんながつながる健幸都市やまと」を踏まえ、多様な交流が生まれる商業の振興を目指した内容とする。
- 社会的な背景を踏まえ、統計データの整理、市民・商業者・来街者へのアンケート調査、商工会議所や商店会長に対するヒアリングなどを通じて、本市における課題を整理したうえで、商業振興の目標を定める。
- 目標の実現に向けて実効性のある計画となるよう、それぞれの課題に即した方向性を設定し、その下で具体的施策を展開する。

4. 計画の概要

(1) 計画期間

令和7年度～11年度（5年間）

(2) 課題の整理

- ① 会員の減少、高齢化に悩む商店会・商店街
- ② 「子育てや高齢者をサポートする場」など、買い物場だけではない、商店街に求められる役割の変化
- ③ 求められる情報発信能力と市の認知度向上

(3) 目標・方向性

○目標

「商店街と地域が一体となって、市民や来街者の滞在・交流により新たな価値が生まれるまちづくり」

○目標実現のための3つの方向性

- ① 【やまとでお買い物！】商店会を中心としつつ、魅力ある個店にも対象を広げた支援
- ② 【やまとがにぎわう！】繋がりのある居場所づくりや遊休地活用を通じた、滞在したい空間づくり
- ③ 【やまとが好きになる！】情報発信の充実や、買い物に行きたくなる雰囲気づくりを通じた、本市のファンづくり

5. 計画の進行管理等

- 庁内関係部署、市内事業者や商工会議所をはじめとした多様な主体と連携し、計画を推進する。
- 施策の展開において事務事業評価等を通じた進行管理に努めるほか、社会・経済情勢の変化を捉え、必要に応じて施策等の見直し・改善を行う。

経過

- R5. 8～9 基礎調査、庁内検討会議立ち上げ等
- R5. 10～R6. 5 対象別、地域別等の意見交換会、アンケート調査、ヒアリング実施
- R6. 6～9 素案の検討
- R6. 8 市民を対象にポスターセッション実施

今後の予定

- R7. 1 意見公募手続
- R7. 3 計画策定